

町田市プレミアム付商品券事業の実施結果について

2019年10月の消費税率引上げにともない、消費に与える影響が大きいと見込まれる方を対象として、国の補助を活用したプレミアム付商品券事業を実施しましたので、報告します。

1 事業の概要

(1) スケジュール

非課税者の申請期間：2019年8月1日～2020年1月21日

購入期間：2019年9月28日～2020年2月28日

使用期間：2019年10月1日～2020年2月29日

(2) 商品券仕様

1枚あたり額面500円とし、1冊4,000円

(額面5,000円分)単位で販売(プレミアム率：25%)

(3) 購入限度額

対象者1名につき、5冊20,000円(額面25,000円分)

2 実施結果

(1) 購入対象者：70,226人

<内訳>

①2019年度住民税非課税者(課税基準日：2019年1月1日)：60,086人

②3歳未満(2016年4月2日～2019年9月30日生まれ)の子どもがいる世帯主：10,140人

(2) 非課税者の申請数

・申請書送付数：60,086件

・申請受付数：23,259件

・申請率：38.7%

(3) 商品券の販売数

・販売冊数：129,592冊

・販売総額：518,368千円(額面総額：647,960千円)

(4) 商品券使用可能店舗

・店舗数：795店(大型店テナントを含めると1,919店)

(5) 使用済み商品券の換金額

・換金総額：645,073千円

・換金率*：99.55%

*販売した商品券の額面総額に対する換金総額の割合

3 実施結果に対する考察

- ・非課税者の申請率が38.7%と低い理由については、新聞等の報道でもあったように、「商品券購入までの手続きが複雑であったこと」、「商品券を使用することで非課税者であることが他人にわかってしまうこと」、「商品券を購入する現金を工面することが負担となっていること」などが挙げられます。これは、全国的な傾向となっています。
- ・使用可能店舗数は1,919店で、2015年度に実施した「町田☆いいことふくらむ商品券」事業の1,873店を上回り、市内全域で商品券を使用できる環境を整えることができました。
- ・商品券が使用された店舗実績を業種別割合の多い順で見ると、スーパーマーケットが57%、ドラッグストアが11%、大型百貨店が10%、家電量販店4%となっており、約70%が日用品等の生活必需品の購入に使われています。